

Coca-Cola Consolidatedが ゼットスケラーで実現した WFA (Work From Anywhere)



所在地
米国ノースカロライナ州シャーロット

業種
製造業

ゼットスケラー製品
Zscaler Internet Access™

コカ・コーラ製品の米国最大の瓶詰め業者であるCoca-Cola Consolidatedは、300種類以上のコカ・コーラ製品の生産と6,600万人以上の消費者への販売と流通を手掛けています。1902年に設立されたCoca-Cola Consolidatedは、米国の14の州とコロンビア特別区に110以上の拠点を構える企業へと成長しました。同社のコミットメントは、顧客はもちろん、コミュニティ、製造工場、流通施設、販売センタ、本社を含むあらゆる場所で働く17,000人以上のチームメイトにまで及びます。COVID-19の感染が拡大する中でこのような多くのチームメイトの安全を確保するため、Coca-Cola Consolidatedは、従業員に在宅勤務を推奨することになりました。

Office 365をリモートワーク環境に合わせて再考

Coca-Cola Consolidatedは、Office 365プラットフォームを何年も前から利用しており、2018年からは、ゼットスケラーを採用してユーザエクスペリエンスの強化を図っています。MicrosoftのOffice 365接続に関する推奨事項に完全に準拠しているゼットスケラーは、Microsoftのネットワークピアリングプログラムが適用されている、20以上のデータセンタを世界中に展開しており、高速のダイレクト接続を提供することで、Coca-Cola ConsolidatedにおけるOffice 365ユーザのユーザエクスペリエンスの強化、また、クラウドファイアウォールやCASB、DLP、クラウドサンドボックスなどによるオープンインターネットトラフィックの保護を実現し、VPNによるパフォーマンスへの影響を回避させることに成功しました。

COVID-19のパンデミック感染拡大に伴い、Coca-Cola Consolidatedは、オフィスで働く数千人の従業員が3月16日から在宅勤務を開始できるよう、移行を進めました。このような大規模な移行は、Microsoft Teamsを始めとするレイテンシに敏感なアプリケーションを社内コミュニケーション用のツールとして使用する会社に対し、課題を提示することになりました。

「ゼットスケラー製品の導入は、我々にとって素晴らしい経験でした。同社はとても辛抱強くサポートをしてくれました。我々の懸念をひとつずつ系統的に解消し、最高の成果に導いてくれました。」

- Rory Regan氏

Coca-Cola Consolidated

ITインフラストラクチャサービス担当
ディレクター

従来のVPN接続は、ユーザからレイテンシが報告されることも多いことから、Office 365の生産性に影響する可能性があります。一方、ゼットスケラーを利用する場合、Microsoftへのすべてのトラフィックがそのまま処理されます。Office 365やTeamsを始めとするアプリケーションの導入にあたって、ハードウェアを増設したり、Microsoftの条件に合わせてセキュリティアプライアンスを構成したりする必要はありません。ゼットスケラーが、Microsoftへの接続を最適化し、すべての構成を自動化します。

安全かつ予測可能なユーザエクスペリエンスをリモートの従業員に提供するため、不確定要素の最小限化がCoca-Cola ConsolidatedのITチームに求められていました。Office 365を多用している会社にとって特に重要だったのは、オフィスで働く場合と同等以上のユーザエクスペリエンスを確保することでした。

「オフィスで働いていた従業員を在宅勤務に移行させることになったため、彼らが自宅の環境でも安全に仕事ができるようになる必要がありました。我々にとって極めて重要だったのは、オフィスで働く時と同じ生産性を維持することでした」(Darrell Thompson氏、Coca-Cola Consolidated最高情報責任者)。

Coca-Cola Consolidatedが在宅勤務への移行に際して大きな成功を収めた要因は、COVID-19の1年以上前にZscaler Client Connector (旧Zscaler App) の導入を段階的に開始していたことにありました。Coca-Cola Consolidatedは、Client Connectorによって、単一のチェックポスト経由でトラフィックのルーティング、内部アプリケーションへの接続の合理化、ユーザエクスペリエンスの向上、セキュリティの強化、インフラストラクチャコストの削減を実現しました。

「最初の段階でVPNを利用するように指示していたとしたら、ユーザエクスペリエンスは低下し、インフラストラクチャコストは上昇していたでしょう」(Rory Regan氏、Coca-Cola Consolidated情報技術サービス担当ディレクター)。

Zscaler Client Connectorが 管理者にもたらすメリット

Coca-Cola Consolidatedの経営陣は、Client Connectorによって、主要ビジネス指標を監視し、新たに採用した在宅勤務モデルでも生産性が維持され、重要な作業を問題なく進められることを確信でき、結果として、情報に基づいた意思決定を前進させることができたと言います。

Thompson氏は、次のように説明しています。「Coca-Cola Consolidatedは常に、実店舗型で作業を続けてきました。工場や施設で、各所と提携しながら、コカ・コーラを生産し、販売し、流通させてきたのです。リモートワーク環境に移行してから、仕事を滞りなく進めることは、以前より困難になっています。しかし今は、ゼットスケラーのダッシュボードに表示される指標から、従業員の状況を把握することができます。データを通して、彼らが実際に勤務にあたっている様子が目に浮かぶようです」。

迅速かつシームレスな導入

Coca-Cola Consolidatedは、さまざまなデバイスを使用する従業員に、デバイスや場所の制限がない、安全な作業環境を提供するソリューションを必要としていました。Client Connectorによって、数千人のユーザへの容易な導入を実現しつつ、希望通りのセキュリティを確保することができました。

「多くのナレッジワーカーがノートPCをすでに利用していたため、Zscaler Client Connectorの導入はとても簡単でした。ノートPCへの追加を開始した段階で、多くのチームメイトがすでに自宅で仕事をしていました。導入の作業は簡単で、業務に支障をきたすことはありませんでした」(Regan氏)。

「これまでの経験で、これほど簡単で苦労なく導入作業が進み、これほど多くのメリットを手に入れられたことはありません」(Regan氏)。

ゼットスケラーについて

ゼットスケラーは、世界をリードする多くの組織を支援し、ネットワークとアプリケーションのトランスフォーメーションによるモバイルとクラウドファーストの環境の実現に貢献しています。代表的なサービスである、Zscaler Internet AccessとZscaler Private Accessは、デバイス、場所、あるいはネットワークに関係なく、ユーザとアプリケーションの高速かつ安全な接続を可能にします。ゼットスケラーのサービスは100%クラウドで提供されるため、従来型のアプライアンスやハイブリッドソリューションでは実現できないシンプルさと強力なセキュリティを提供し、ユーザエクスペリエンスの向上を可能にします。185か国以上で使用されているゼットスケラーは、マルチテナントの分散型クラウドセキュリティプラットフォームを運用することで、サイバー攻撃やデータ損失から数千の顧客を保護しています。

[zscaler.jp](https://www.zscaler.jp)で詳細をご確認ください。

